

## 6. 広報相談に関する取組

若年層や子育て世代を対象に、財務省や金融庁の施策を、予算編成シミュレーションのグループワークや生活に役立つマネー講座など、分かりやすい形で情報発信しています。

## 地元大学で寄附講義を実施

北陸地域に所在する大学に対し、財務局が持つ専門的知識やネットワークを活かした、財政、税制、金融、経済の幅広い分野の講義を実施し、若者に必要な知識の付与に貢献。

### 概要

北陸財務局では、地域の大学からのニーズに応え、財政・金融・地域経済をテーマとした様々な分野の寄附講義を実施。

#### ○より実践的な講義の継続的な実施

- ・法令等に基づく具体的な行政の対応について学ばせたいという大学からの依頼に対し、**より実践的な内容の講義**を財務局職員が毎年実施している。(富山大学・金沢大学)
- ・講義では、最近のコロナ対応等のトピックスも説明。

#### ○国の機関等と連携したリレー形式の講義の実施

- ・幅広い現場を知りたいという大学からの依頼に対して、**北陸財務局が関係機関に呼びかけ**、金融庁、国税局、税関、政策金融機関等と協働し、リレー式(全15コマ)で講義を実施している。



金沢学院大学での寄附講義



コロナ禍でのリモート形式の講義

### 取組の成果

- 未来の北陸地域を担う若者に対し、豊富な水資源や伝統技術などの**地域の特性や魅力を発信**することで、地域に対する理解を深め、地域が抱える課題について考える場を提供。
- 成年年齢引下げによる参政権付与や金融リテラシーといった、**若者に必要な知識をタイムリーに付与**できる機会を創出。
- 学生からも「今まで全く意識していなかった地元経済のポテンシャルに気が付くことができて良かった。」「北陸での就職も検討してみたい。」といった、**北陸地域の魅力について再発見する場**になっている。

寄附講義を継続して実施することで、大学側の関係者や協働して講義を行う**国の関係機関等、地域関係者とのネットワーク拡大・強化**に繋がっている。引き続き毎年寄附講義を実施するなかで、経済・経営の学生だけでなく、他の学部の学生も対象としていく予定である。

# 金融広報委員会と連携した子育て世代向け講座を開催

子育て世代を対象とした「子育て世代のお金の話」講座を開催。参加者のニーズを踏まえ、長崎県金融広報委員会と連携し、ワークショップを取り入れた参加型のプログラムを実施。

## 概要

- 長崎財務事務所は、図書館などで子育て世代の地域住民の方を対象に、お金に関する講座を開催している。
- これまでに開催した講座の参加者アンケートの結果では、**ライフプランや資産形成に対するニーズが高い**ことから、長崎県金融広報委員会と連携した講座を企画。
- ファイナンシャルプランナー(CFP)である長崎県金融広報アドバイザーに、**「ライフプランについて考えるワークショップ」**を担当してもらい、2部構成で講座を開催。

## 「初心者の子育て世代のお金の話」講座

### 第1部 講演

テーマ:子育て世代のお金の話 入門編  
講師:長崎財務事務所職員

### 第2部 ワークショップ

テーマ:私のライフプランを考えてみよう  
講師:長崎県金融広報アドバイザー

## 取組の成果

- 講座には20～30代を中心に、子育て中のママ・パパが参加。金融広報委員会との連携により、参加者にライフイベントとお金の関係をより深く考えるきっかけを提供できた。

## 参加者の声

- ・ライフプランや金融商品について学んだことがなかったので、それらを知るきっかけとして良い機会になった。
- ・自分の人生設計を考えることができたのでとてもためになった。

- この講座をきっかけに、金融広報委員会と共同で講師派遣チラシを作成・配布。今後も同様の取組を広く展開していく。



【講座の様子】



【家族でワークショップ】



【講師派遣チラシ】

# 財政教育プログラム授業拡大に向けた取組

沖縄総合事務局は、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現・拡大のため、「先生のみで実施する財政教育プログラムのモデルケース」を策定。

## 概要

○財務局では、若年層に日本の財政に関心を持ってもらうため、小・中・高を対象として、国の予算編成を疑似体験する授業「財政教育プログラム」を実施している。

○これまでの同プログラムの実施先において、生徒からは「グループワーク」の実施に高評価を得ているものの、一部の先生からは、課題についても言及があった。



【グループワークの様子】

## 先生の声

- ・コロナ禍で財務局職員の受入調整に手間と時間がかかった。
- ・プログラム実施のための時間(2時限)の確保に苦労した。

○沖縄総合事務局では、学校側の事務負担軽減と財政教育プログラム授業の更なる拡大を図るため、先生のみで、時間を短縮して授業を実施するモデルケースを策定した。

## 取組の成果

### 【モデルケースの内容】

○財務局職員向けのガイドブックをもとに、授業の進め方やグループワークを活性化するための方法等をまとめた「**財政教育PGガイドブック(先生用)**」を作成。当該ガイドブックの活用により、先生のみで授業が実施可能になった。

○使用する教材の絞り込みや、授業で生徒が作成する資料を宿題等で事前に作成する形式に変更することで、授業時間を1時限に短縮したモデルケースを作成した。

### ＜時間短縮の方法＞

- ・検討する予算項目の絞り込み
- ・個人用ワークシートの事前作成 等



【財政教育PGガイドブック】

### 【今後の活用予定】

○令和4年4月に施行された高等学校学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学びの実現」が求められており、今後、沖縄総合事務局では、当局主体の開催に加え、当該モデルケースを積極的に各学校に周知し、財政教育プログラムの更なる拡大を図っていく。